

開設科目名	人間の尊厳と生命倫理	科目コード	MWSB901	開設期	通年		
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	15 時間	授業区分	講義、演習		
責任者	桃井 雅子	担当者	井手 信、牧山 強美、桃井 雅子				
授業の概要（授業の目的）							
建学の精神「カトリックの愛の精神」に基づく、人間の存在、いのちの尊厳への理解を深める。医療技術の進歩に伴い新たに派生してきた性と生殖に関する様々な問題を倫理的側面から学ぶ。いのちの誕生に直接携わる専門職者としての倫理観の形成を目的とする。							
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連			
1) 人間の尊厳を基盤とした生命倫理の原則・主要概念を理解することができる。				◎1.人間の尊厳といのち・生命の尊重 2.自然性を尊重したケア/ケアリング 7.専門職としての主体性・自律性			
2) 臨床における助産実践において倫理的問題が何かを考察、抽出することができる。							
3) 母児の尊厳を尊重したケアの実践、アドボカシーについて考察することができる							
4) 建学の精神「カトリックの愛の精神」に基づく生命尊重とケアリングを理解し、実践することができる。							
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）							
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間		
1.	人間の尊厳を基盤とした生命倫理の原則・主要概念について	講義 (対面)	牧山	・予習：下記の参考書を読み、共感できる箇所（○）、できない点（×）、不可解な表現や用語（？）などを、事前にマークしておく。 ① 参考書「いのちへのまなざし」②参考書「指針 人格の尊厳」 ・復習：二つの参考書を再度確認し、内省・考察する。	4時間		
2.		講義(対面)	牧山		4時間		
3.	個としての命の始まり、胎児・新生児の命の尊厳と医療倫理の原則	講義 (対面)	井手	・参考書（看護学生のための医療倫理 16－23 ページ）を読んでおくこと。当日一事例を紹介します。 ・復習：授業内容を振り返り、内省・考察する。	4時間		
4.	母児の尊厳を守る助産～助産師の使命と役割～	講義 発表 (対面)	桃井	・予習：第 1～3 回目の授業内容を振り返り、再度、上記の参考書①と②を読み、いのち・命の始まりにおける助産師の使命、役割・責務とは何かについて、予め考察しておく。 ・復習：授業内容を振り返り、内省・考察する。	4時間		
5.	「いのちの誕生における人為的関与と生命倫理」  事例学習① 倫理的問題の明確化	発表 ディスカッション (対面)	桃井	・予習：演習（発表、ディスカッション）に向けて、文献（事前に提示します）を読み、内容の理解を深めておく。加えて、第 1～4 回までの学びを基に、助産師として、何が注目すべき倫理的問題であるか、倫理的問題と考える理由・根拠を、予め考察しておく。 ・復習：授業内容を振り返り、内省・考察する。	4時間		
6.	事例学習② 倫理的問題の理解と考察	発表 ディスカッション (対面)	桃井	・予習：演習（発表、ディスカッション）に向けて、第 5 回で明らかになった倫理的問題について、問題の現状・内容について、予め調べておく。 ・復習：授業内容を振り返り、内省・考察する。	4時間		
7.	事例学習③	発表 ディスカッション (対面)	井手 桃井	・予習：演習（発表、ディスカッション）に向けて、第 6 回で取り上げた倫理的問題の現状・内容を踏まえた上で、そこで助産師に求められる使命、役割・責務とは何か、予め考察しておく。	4時間		
8.	倫理的問題における助産師の役割・責務の考察			・復習：8回の授業内容を振り返り、内省し、課題レポートをまとめる。	4時間		
成績評価方法・基準	① 発表（事例学習時のプレゼンテーション）50%（桃井） ② 授業外レポート（全 8 回の授業を通じた学びをまとめる。具体的な課題内容は第 8 回目に提示します）50%（桃井）						
課題に対するフィードバック	授業外レポートに対しては、課題提出後に、個別のフィードバックと、全体に向けての総評を致します。						
教科書	特に指定しない						
参考書・参考文献	・盛永審一郎他編（2018）：看護学生のための医療倫理、丸善出版、東京。 ・日本カトリック司教団（2017）：いのちへのまなざし 増補新版、カトリック中央協議会、東京。 ・教皇庁 教理省（2014）：指針 人格の尊厳 生命倫理のいくつかの問題について、カトリック中央協議会、東京。 ・教皇庁国際神学委員会（2006）：人間の尊厳と科学技術、カトリック中央協議会、東京。 ・ホセ・ヨンパルト、秋葉悦子（2009）：人間の尊厳と生命倫理・生命法、成文堂、東京。 *その他、授業内容に応じて文献をご紹介します。						
オフィスアワー 学習相談 メッセージ	* オフィスアワー：水曜日 16:30～18:00（桃井雅子） * 学習相談：隨時受け付けます。 * メッセージ：助産師を志し本学（建学の精神のもと）で学ぶことの意味について。また、将来助産師として歩む自らの生命倫理観について。さらに、母児の人格の尊厳といのちを護る助産師（ケア者）として、何を為すべきかについて、深く考える機会を持つください。						

開設科目名	性と生殖の形態機能 I	科目コード	MWSB902	開設期	前期
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	15 時間	授業区分	講義
責任者	野口ゆかり	担当者	野口ゆかり、中村薫、堀 大蔵、下村卓也		

授業の概要（授業の目的）

産科領域における形態・機能学について学修する。

マタニティサイクルにある妊娠褥婦の健康課題を理解し、助産ケアを展開する上で必要となる、性と生殖を中心とした人間の根源である性を、臨床医学、看護学、心理学、社会学などあらゆる面から科学的に捉え、セクシャル・ヘルス（性の健康）について理解を深め、助産師として実践的思考能力を高めるよう学修する。

学修の到達目標	ディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連
1. 成人男女の生殖器（内性器・外性器）のしくみ・骨盤の仕組みが理解できる。	◎1.人間の尊厳といのち・生命の尊重
2. 女性ホルモンの動態、妊娠による内分泌環境の変化と妊娠・分娩・産褥への影響	4.根拠に基づく実践
3. 妊娠の正常経過と妊娠期の異常の病態・治療・管理について形態機能的に理解できる。	
4. 分娩期の正常経過と分娩期の異常の病態・治療・管理について形態機能的に理解できる。	
5. 胎児の成長と発達について、形態機能的に理解できる。	
6. 胎児・胎盤・胎児付属物の構造と機能について理解できる。	
7. 胎児超音波機器シミュレーターを使用した診断技術が理解できる。	
8. マタニティサイクルにある女性の性と生殖の形態機能に関する健康課題から、女性のセクシャルヘルス（性の健康）と助産師の役割について考察できる。	

授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）※遠隔授業の方法：zoom/Teamsによる同時双方向型

回	授業内容	方法	担当者	予習・復習（学習課題）	取組時間
1	成人男女の生殖器（内性器・外性器）の構造と機能	講義 <遠隔>	中村	予習：教科書の該当箇所、事前に指定資料を読む 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	1 時間
2	女性ホルモンの動態、妊娠による内分泌環境の変化と妊娠・分娩・産褥への影響	講義 <遠隔>	中村	予習：教科書の該当箇所、事前に指定資料を読む 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	1 時間
3	妊娠経過と妊娠期の異常（切迫早産、妊娠高血圧症候群、多胎妊娠）病態・治療・管理	講義 <遠隔>	堀	予習：教科書の該当箇所、事前に指定資料を読む 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	1 時間
4	分娩期の経過と分娩期の異常 分娩の3要素と分娩3要素の異常	講義 <遠隔>	堀	予習：教科書の該当箇所、事前に指定資料を読む 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	1 時間
5	胎児の成長と発達 胎児発育・健康状態の診断	講義<遠隔> <遠隔>	下村	予習：教科書の該当箇所、事前に指定資料を読む 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	1 時間
6	胎児・胎盤・胎児付属物の構造と機能 超音波診断演習	演習 <対面>	下村	予習：教科書の該当箇所、事前に指定資料を読む 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	1 時間
7	分娩期・産褥期の診断と治療 会陰裂傷・会陰縫合術演習	講義・演習 <対面>	下村	予習：事前に指定資料を読む 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	1 時間
8	マタニティサイクルにある女性の性・生殖の健康課題・セクシャルヘルスと助産師の役割	講義・討議 <対面/遠隔>	野口	課題について資料と文献を読む 授業全体を振り返り、考察する。	1 時間

成績評価方法・基準	成績評価方法・基準は、① 単位認定試験 筆記 80%（評価者 中村 20%・堀 20% 下村 40% ） 課題発表レポート 20%（評価者：野口：発表 10% + レポート 10%）
課題に対するフィードバック	課題に関しては、発表・討議時にコメントする。課題レポート返却時に理解度の確認を行い、質問等に応じる。
教科書	① 我部山キヨ子、武谷雄二編（2022）：助産学講座2、基礎助産学2、母子の健康科学第6版、医学書院 +e-テキスト 最新版② 堀内成子編（2022）：助産学講座5、助産診断・技術学I、医学書院+e-テキスト 最新版 ③ 我部山キヨ子、武谷雄二編（2022）：助産学講座6、助産診断・技術学II、妊娠期、第6版、医学書院 +e-テキスト 最新版 ④ 我部山キヨ子、藤井知行（2022）：助産学講座7、助産診断・技術学II、分娩・産褥期、第6版、医学書院 +e-テキスト 最新版
参考書・参考文献	・井上裕美他監修：病気がみえるvol10、産科、メディックメディア、東京。
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	野口ゆかり（オフィスアワー 火曜日 12:10～13:00） 対面およびオンライン Teams 可 y-noguchi@stmaryac.jp.onmicrosoft.com メッセージ：助産実践を行う上で、根拠とする産科領域での形態機能面からエビデンス（病態・治療・管理）の知識です。 その他：担当教員の研究から参照して事例を検討します。

開設科目名	性と生殖の形態機能 II	科目コード	MWSB903	開設期	前期
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	15 時間	授業区分	講義
責任者	柳本朋子	担当者	柳本朋子、川上桂子、杉山 徹、村上文洋		

授業の概要（授業の目的）

婦人科領域における形態・機能学および各ライフステージにおける女性の健康課題とケアについて学修する。女性の一生の健康問題を性ホルモンの動態を基に理解し、また、生活習慣、環境から発症するライフサイクル各期の疾患を学ぶことにより、継続した保健指導（疾病予防含む）が展開できるよう、正常から逸脱した形態機能について事例を基に学修する。

学修の到達目標	ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連
1. 性ホルモンの動態・加齢による疾患の発生機序を理解できる。	②自然性を尊重したケア/ケアリング
2. 女性のライフサイクル各期に起こる主な疾患の病態生理を理解できる。	◎③各ライフステージにおける全人的理解
3. ライフサイクル各期の疾患の診断と治療を踏まえた健康教育（疾病予防含む）について述べることができる。	④根拠に基づく実践

授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）※遠隔授業の方法：teams による同時双方向型

回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	1.ライフサイクル各期の性ホルモン動態と女性の健康 2.思春期疾患 1) 思春期と月経異常 2) 性感染症 等	講義<遠隔>	村上	予習：テキスト①第 1 章、6 章、7 章、8 章を読んでおく 復習：授業内容の振り返りと考察をする	4 時間
2	3.成熟期疾患 1) 不妊症・不育症 2) 男性不妊	講義<遠隔>	村上	予習：テキスト①第 4 章を読んでおく 復習：授業内容の振り返りと考察をする	4 時間
3	4.成熟期疾患 1) 生殖器の感染症 2) 子宮内膜症 3) 子宮筋腫 等	講義<遠隔>	村上	予習：テキスト①第 8 章を読んでおく 復習：授業内容の振り返りと考察をする	4 時間
4	4. 成熟期疾患 4) HPV 感染と子宮頸癌 5) 子宮体癌	講義<面接>	杉山	予習：テキスト①第 8 章、第 9 章を読んでおく 復習：授業内容の振り返りと考察をする	4 時間
5	4. 成熟期疾患 6) 卵巣がん 7) その他の悪性腫瘍	講義<面接>	杉山	予習：テキスト①第 8 章、第 9 章を読んでおく 復習：授業内容の振り返りと考察をする	4 時間
6	5.更年期・老年期疾患 1) 更年期障害 2) 高脂血症・虚血性心疾患 3) 骨粗しょう症 等	講義<遠隔>	村上	予習：テキスト①第 8 章を読んでおく 復習：授業内容の振り返りと考察をする	4 時間
7	6.思春期・成熟期女性の支援	講義 GW <面接>	川上	テキストや文献、これまでの学修を活用し、病態生理や課題を明確にしておくこと。上記の講義を基にグループワークにて女性のライフサイクルにおける必要な支援を考察する。	4 時間
8	7.更年期・老年期女性の支援	講義 GW <面接>	柳本	テキストや文献、これまでの学修を活用し、病態生理や課題を明確にしておくこと。上記の講義を基にグループワークにて女性のライフサイクルにおける必要な支援を考察する。	4 時間

成績評価方法・基準	筆記試験 80%、演習 20%（担当者全員で評価を行う）
課題に対するフィードバック	テキスト予習と配布資料の復習が課題であり、講義をオムニバス形式で担当しますので、講義中、あるいは講義後に質問を受けることで、フィードバックをします。
教科書	①我部山キヨ子編 基礎助産学講座 2巻 医学書院 最新版 書籍+電子版
参考書・参考文献	吉沢豊予子編 助産師基礎教育テキスト第 2巻 日本看護協会出版会 最新版 井上裕美他監修（最新版）：病気がみえる vol.9 婦人科・乳腺外科」メディックメディア
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	柳本 朋子 火曜日 16:30 ~17:30 連絡先：2号館 1階 L 218 メールアドレス:yanagimoto@stmaryacjp.onmicrosoft.com 記時間帯以外でも可能な時間であれば随時対応します。事前にご連絡ください。 非常勤講師の講義の場合は、講義終了後、教室で質問等受け付けます。

開設科目名	基礎助産学	科目コード	MWSB904	開設期	通年
単位数（履修区分）	2 単位（必修）	時間数	30 時間	授業区分	講義・演習
責任者	桃井雅子	担当者	桃井 雅子、野口 ゆかり、柳本 朋子、川上 桂子、有森 直子		
授業の概要（授業の目的）					
<p>助産の概念、助産の歴史や意義、母子保健について理解を深め、助産師の責務倫理・役割について学修する。女性のライフステージにおける健康課題、リプロダクティブヘルス／ライツに関する課題およびそれらに影響する環境要因について学修する。女性とその家族を包括的にとらえ、家族全体の支援者として必要な知識・技能・態度を学修する。</p>					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1) 助産の概念、助産家の理念と助産師に求められる役割と責務、助産師と助産実践に 関わる倫理、助産の歴史と文化、以上について理解・考察することができる。				◎ 1.人間の尊厳といのち・生命の尊重 ◎ 2.自然性を尊重したケア/ケアリング ◎ 3.各ライフステージにおける全人的な理解 4.根拠に基づく実践 5.他職種との協働・連携 6.多様性の尊重した地域・国際貢献 ◎ 7.専門職としての主体性・自律性	
2) 家族・家族看護の概念、周産期ならびに育児期にある家族の特徴と看護を理解・考察 することができる。					
3) リプロダクティブヘルス／ライツ、セクシャル・ヘルスおよびこれらに関する課題について理解・ 考察することができる。					
4) ヒト遺伝学の基礎知識、遺伝／ゲノム看護においてケアニーズを有する対象者を理解すること ができる。助産師に求められるケア者としての役割・責務について理解・考察することができる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	助産師とは（助産の概念） 助産師の役割と責務について	講義 <対面>	桃井	予習：自己の助産觀を明確にして臨む。 教科書の該当箇所を読む。	4 時間
2	助産ケアの理念① 周産期にある対象の全人的理解 他	講義 <対面>	桃井	予習：事前に提示された文献を読んでおく。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	4 時間
3	助産ケアの理念② 意思決定の支援について	講義 <対面>	桃井	予習：教科書の該当箇所、指定された文献を読む。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	4 時間
4	助産師・助産実践と倫理	講義 <対面>	桃井	予習：教科書の該当箇所、指定された文献を読む。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	4 時間
5	助産の歴史と文化① (古代～令和までの助産の変遷 )	講義・演習 GW <対面>	野口	予習：教科書・文献の該当箇所を読み概要を整理する。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	4 時間
6	助産の歴史と文化② (助産の文化・日本の助産習俗ほか)	講義・演習 討議<対面>	野口	予習：教科書の該当箇所、指定文献・資料を読む。 復習：授業・発表内容の振り返りと考察をする。	4 時間
7	家族・家族看護の概念	講義 <対面>	柳本	予習：教科書の該当箇所、指定された文献を読む。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	4 時間
8	周産期・育児期にある家族の特徴と看護	講義 <対面>	柳本	予習：教科書の該当箇所、指定された文献を読む。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	4 時間
9	リプロダクティブヘルス／ライツ	講義 <対面>	川上	予習：教科書の該当箇所、指定された文献を読む。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	4 時間
10	セクシャル・ヘルス	講義 <対面>	川上	予習：教科書の該当箇所、指定された文献を読む。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	4 時間
11	リプロダクティブヘルス／ライツならびに セクシャル・ヘルスに関する課題と看護	講義・演習 GW <対面>	川上	予習：教科書の該当箇所、指定された文献を読む。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	4 時間
12	ヒト遺伝学の基礎	講義 <対面>	柳本	予習：教科書の該当箇所、指定された文献を読む。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	4 時間
13	遺伝／ゲノム看護 ～概論～	講義 <遠隔>	有森	予習：事前に配布するプリントに従い事前学修する。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	4 時間
14	遺伝看護と意思決定支援	講義 <遠隔>	有森		4 時間
15	遺伝看護の実際（ケース・スタディ）	講義・演習 <遠隔>	GS 予定		4 時間

成績評価方法・基準	<p>① レポート 80% (桃井、野口、柳本、川上 各 20%) *レポート課題については、専任担当者の講義時に提示いたします。</p> <p>② 講義への取り組み・参加状況 : 20%</p>
課題に対するフィードバック	課題のフィードバックは、提出物の内容を確認後、個別に行います。
教科書	<p>① 工藤美子編：助産師基礎教育テキスト 第1巻 助産概論、日本看護協会出版会、最新版。</p> <p>② 我部山 キヨ子編：助産学講座1, 基礎助産学 [1] 助産概論 第6版、医学書院、最新版。</p>
参考書・参考文献	* 各授業内容に応じて参考書・参考文献をご紹介します。
オフィスアワー 学習相談 メッセー その他	<p>* オフィスアワー：桃井雅子 水曜日 16:30～18:00</p> <p>* 学習相談：隨時、受け付けます。</p> <p>* メッセージ：助産師としてあなたはどのような役割・責務を果たしたいと考えますか…建学の精神を覚えつつ、本科目を通して、深く考える時を持ってください。</p>

開設科目名	助産診断・技術学 I	科目コード	MWSM901	開設期	前期
単位数（履修区分）	2 単位（必修）	時間数	30 時間	授業区分	講義、演習
責任者	柳本朋子	担当者	柳本朋子、野口ゆかり、川上 桂子、井口亜由		
授業の概要（授業の目的）					
妊娠期の女性・胎児およびその家族を全人的に理解し、より wellness な状態に導くために必要な概念や基礎理論を学修し、助産過程の展開に必要な基礎的知識・技能・態度について学修する。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1. 妊娠期の女性・胎児およびその家族の身体的・心理的・社会的状態について理解できる。 2. 妊娠期の女性および胎児に対し、助産診断のためのフィジカルアセスメント及び基本的な助産技術が実施できる。 3. 妊娠期の女性・胎児およびその家族の事例を用いて、より wellness な状態に導き、異常を早期発見するためのアセスメント、助産診断・計画の立案ができる。 4. 妊娠期の女性・胎児およびその家族に対する必要な健康教育について理解し、実施できる。				◎①人間の尊厳と生命の尊重 ②自然性を尊重したケア/ケアリング ③各ライフステージにおける全人的理解 ◎④根拠に基づく実践	
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）※遠隔授業の方法：teams による同時双方型					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	助産診断学の概要 助産診断・助産過程 妊娠とそれに伴う母体の変化 妊娠に伴う全身の変化	講義＜面接＞	柳本	予習：教科書の指定の箇所を読んでおく。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。 講義中に課題を提示する。	2 時間
2	妊娠とそれに伴う母体の変化 妊娠に伴う全身の変化 妊娠経過の診断	講義＜面接＞	柳本	予習：教科書の指定の箇所を読んでおく。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	2 時間
3	妊娠各期に対応したケア：妊娠初期	講義＜面接＞	柳本	予習：教科書の指定の箇所を読んでおく。	2 時間
4	事例を用いた助産過程の立案	GW・発表		復習：授業内容の振り返りと考察をする。	2 時間
5	妊娠各期にある女性の身体的状態	講義＜面接＞	柳本	予習：教科書の指定の箇所を読んでおく。	2 時間
6	妊娠中期			復習：授業内容の振り返りと考察をする。	2 時間
7	妊娠各期に対応したケア：妊娠中期 事例を用いた助産過程の立案	講義＜面接＞	柳本	講義中に課題を提示する。	2 時間
8	健康教育	GW 発表	野口、川上	予習：教科書の指定の箇所を読んでおく。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	2 時間
9				教科書参考文献を用いて健康教育・ケアを組み立てる。	2 時間
10	妊娠各期にある女性の身体的状態	講義＜面接＞	柳本	予習：教科書の指定の箇所を読んでおく。	2 時間
11	妊娠後期			復習：授業内容の振り返りと考察をする。	2 時間
12	胎児の健康状態の診断：胎児モニタリング	講義＜面接＞	柳本	予習：教科書の指定の箇所を読んでおく。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	2 時間
13	妊娠各期に対応したケア：妊娠末期	講義＜面接＞	柳本	講義中に課題を提示する。	2 時間
14	事例を用いた助産過程の立案	GW 発表	野口、川上	予習：教科書の指定の箇所を読んでおく。	2 時間
15	健康教育		井口	復習：授業内容の振り返りと考察をする。 教科書参考文献を用いて健康教育・ケアを組み立てる。	2 時間
成績評価方法・基準	定期試験 60% 授業参加度 10% 保健指導・助産過程の最終成果物の提出 30% (担当者全員)				
課題に対するフィードバック	提出物にはコメントを書いてお返しいたします。				
教科書	①我部山キヨ子編：助産学講座 3・5・6 卷 医学書院 最新版 書籍+電子書籍 ②平澤恵美子監修：写真でわかる助産技術アドバンス インターメディア				

参考書・参考文献	<p>北川眞理子他：今日の助産、南江堂</p> <p>森恵美編：妊娠期の診断とケア、助産師基礎教育テキスト第4巻、日本看護協会出版会</p> <p>井上裕美他監修（最新版）：病気がみえるvol.9 婦人科・乳腺外科、メディックメディア。</p> <p>井上裕美他監修（最新版）：病気がみえるvol.10 産科 メディックメディア</p> <p>日本産婦人科学会、日本産婦人科医会編集・監修:産婦人科ガイドライン 産科編、日本産婦人科学会、2020</p> <p>中井 章人：図説 CTG テキスト アドバンス メディカルビュー社 2017</p> <p>日本助産診断・実践研究会：マタニティ診断ガイドブック 第6版 医学書院、2020</p> <p>Neo-Nursing 研究会：ロイの看護診断を用いた母性看護過程—事例を用いた論理的思考の展開—三省堂書店、2020</p> <p>動画配信「医学映像セレクト」50巻中の関連内容の映像の事前試聴</p> <p>その他適宜紹介します。</p>
オンリー 学習相談 メッセージ その他	<p>柳本 朋子 火曜日 16:30 ~ 17:30</p> <p>連絡先：2号館 1階 L218 メールアドレス:yanagimoto@stmaryacjp.onmicrosoft.com</p> <p>記時間帯以外でも可能な時間であれば随時対応します。事前にご連絡ください。</p> <p>メッセージ：継続事例の妊娠期実習,分娩介助実習に必要な科目です。</p> <p>妊娠期の健康教育が安全・安楽な出産につながります。確かな知識と技術の習得が求められます。</p> <p>テキストだけでは足りないので、専門書から確かな情報を得てください。</p>

開設科目名	助産診断技術学Ⅱ	科目コード	MWSM902	開設期	前期			
単位数(履修区分)	2単位(必修)	時間数	60時間	授業区分	講義 演習 実技			
責任者	川上桂子	担当者	川上桂子 野口ゆかり、柳本朋子、井口亜由、寺田恵子、山下珠美					
<b>授業の概要(授業の目的)</b>								
分娩期の女性・胎児・新生児およびその家族を全人的に捉え、安全で肯定的な出産体験となるような援助技術を学修する。正常な経過・生理的プロセスを理解し助産過程の展開ができるよう、知識・技能・態度を学修する。正常な経過をたどる分娩の基本的介助技術を修得する。								
<b>学修の到達目標</b>								
1. 分娩の正常な経過・分娩の生理的プロセスを理解することができる。 2. 分娩期のアセメント・診断・ケア計画の立案ができる 3. 分娩介助の意義・原理を理解し、基本的な分娩介助技術を習得することができる。 4. 出生直後の新生児の観察ができ、胎外生活適応状態とケアについて説明できる。 5. 分娩の生理的プロセスを最大限に活かすケア/ケアリング、産婦とその家族の意思・主体性を尊重し、産婦にとってポジティブな体験となるような助産ケア/ケアリングについて理解を深めることができる。 6. 産痛緩和やリラクゼーションの方法について述べることができる。								
<b>授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)</b>								
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間			
1	ガイダンス、分娩期の助産ケア 分娩経過、助産師が行う助産ケア	講義 (対面)	川上	予習：教科書の該当箇所を読んでおく 復習：授業内容	1時間			
2	分娩の生理： 分娩の機序と4要素、 分娩が母体・胎児に及ぼす影響 分娩期の心理・社会的变化	講義 (対面)	川上	予習：教科書の該当箇所を読んでおく 母性看護学の復習をしておく 復習：授業内容	1時間			
3	分娩期の助産診断とケア①： 助産診断の視座、特徴、類型 分娩経過と分娩予測	講義 (対面)	川上	予習：教科書の該当箇所を読んでおく 復習：授業内容	1時間			
4	分娩期の助産診断とケア②： 分娩第1期～分娩第2期	講義 (対面)	川上	予習：教科書の該当箇所を読んでおく 復習：授業内容	1時間			
5	分娩期の助産診断とケア③： ～分娩第3期	講義 (対面)	川上	予習：教科書の該当箇所を読んでおく 復習：授業内容	1時間			
6	分娩期の助産診断とケア④： ～分娩後2時間、帰室まで	講義 (対面)	川上	予習：教科書の該当箇所を読んでおく 復習：授業内容	1時間			
7	分娩期の助産診断とケア⑤： 胎児の健康状態の診断とケア 胎児心拍モニタリングの判断	講義 (対面)	柳本	予習：教科書の該当箇所を読んでおく 復習：授業内容	1時間			
8	産婦への支援① 分娩を促すケア 産痛緩和、体位	講義・演習 (対面)	川上	予習：教科書の該当箇所、産婦支援に関する文献を読みその方法を調べておく 復習：授業内容	1時間			
9	産婦への支援② 分娩誘発・促進 無痛分娩時のケア	講義 (対面)	柳本	予習：教科書の該当箇所 復習：授業内容	1時間			
10	事例の展開①：分娩開始前後～ 健診検査、分娩開始の診断、パルトグラム	講義・GW・ 討議・演習 (対面)	川上 柳本	予習：事例を展開し、不足情報・疑問点を明らかにしておく	1時間			
11	事例の展開②：分娩第1期 潜伏期・活動期			復習：授業内容の復習、事例の修正	1時間			
12	事例の展開③：分娩第2期～第3期				1時間			
13	事例の展開④：産後2時間、帰室まで				1時間			
14	事例の展開⑤：事例の発表とまとめ				1時間			
15	分娩介助法①：分娩介助の意義と原理 分娩介助の準備、分娩介助に伴う技術	講義 (対面)	川上	予習：教科書の該当箇所を読んでおく DVD・「医学映像」を視聴し介助手順を理解しておく 復習：授業内容	1時間			
16	分娩介助技術②：分娩介助の実際				1時間			
17	分娩介助演習デモンストレーション： 分娩介助技術	講義 (対面)	山下	予習：Web class 該当箇所を視聴 復習：授業内容	1時間			
18	分娩介助演習デモンストレーション：	講義	山下	予習：教科書の該当箇所を読んでおく	1時間			

	胎児付属物の娩出,一次精査, 人工破膜	演習 〈対面〉		Web class の該当箇所、DVD・を「医学映像」 視聴しておく 復習：授業内容	
19	分娩介助技術③ 出生直後の新生児のアセスメントとケア 早期母児接触・早期授乳	講義 〈対面〉	井口	予習：教科書の該当箇所を読んでおく DVD・「医学映像」を視聴しておく 復習：授業内容	1 時間
20	分娩介助技術④ 直後の新生児のアセスメントとケア・	演習 〈対面〉	井口 川上	予習：教科書の該当箇所を読んでおく DVD・「医学映像」を視聴しておく 復習：授業内容	1 時間
21	事例の展開⑥：事例の発表と総まとめ 記録物：出生届、母子健康手帳の書き方	講義 発表 演習 〈対面〉	川上 柳本	予習： 事例のまとめ 発表準備 復習：事例の修正	1 時間
22	フリースタイル分娩に必要な基本的な知識 母子と補完代替え医療			予習：母子と補完代替え医療を1つあげ、関連する文献を読みまとめておく	1 時間
23	分娩介助技術⑤ フリースタイル分娩	講義 実技 〈対面〉	寺田	予習：教科書の該当箇所を読んでおく DVD を視聴しておく 復習：授業内容	1 時間
24	分娩介助技術演習①	実技・演習 〈対面〉	野口 川上 柳本	予習： Web class DVD、『医学映像』を視聴し、滅菌操作（ガウン・手袋装着、導尿、器械など）、内診、胎盤計測、産婦の支援、分娩介助方法・手順を整理しておく 復習：演習を振り返り、自己の課題を明らかにし、繰り返し練習を行う	1 時間
25	分娩介助技術演習②				1 時間
26	分娩介助技術演習③				1 時間
27	分娩介助技術演習④				1 時間
28	分娩介助技術演習⑤				1 時間
29	分娩介助技術演習⑥				1 時間
30	分娩介助技術演習⑦ (実技評価)				1 時間
成績評価方法・基準	定期試験 60% (柳本、川上、井口) 、課題 10% (川上) 、実技 20% ・学習態度 10% (担当教員全員)				
課題に対するフィードバック	課題は出題意図を説明し、授業内にコメントする。演習・実技は授業内または個別にコメントする。				
教科書	我部山キヨ子編：助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ(2)分娩・産褥期、医学書院、最新版 (e-テキスト可) 細野茂春：新生児蘇生法テキスト、メディカルビュー、最新版				
参考書・参考文献	助産師基礎教育テキスト、第5巻、第7巻 日本看護協会出版会、最新版 我部山キヨ子編：助産学講座3 基礎助産学(3) 母子の健康科学、医学書院、最新版 (e-テキスト可) 三砂ちづる編：「助産の本質」、南山堂、2021 北川眞理子/内山和美「今日の助産」南江堂、最新版、マタニティ診断ガイドブック 第6版、2021 医学書院 平澤美恵子監修：写真でわかる助産技術アドバンス インターメディカ 2018 WHO ポジティブな出産体験のための分娩期ケア 2021 医学書院 日本助産学会編：エビデンスに基づく助産ガイドライン-妊娠期・分娩期 2020 日本助産学会 日本産婦人科学会/日本産婦人科医会編集：産科婦人科診療ガイドライン 産科編 2020 進純郎分娩介助学 医学書院 2016, 進純郎他 正常分娩助産術、医学書院、2016 村上明美：フリースタイル分娩介助 医歯薬出版 2015 医療情報科学研究所：病気が見える Vol.10 産科 最新版 メディック・メディア オシャステイン・ウヴネース・モベリ(著),オキシトシン私たちのからだがつくる安らぎの物質 晶文社; 普及版 2014 その他適宜講義中に提示します。				
カイアワー 学習相談 メッセージ その他	川上 桂子 (2号館1階 L219) 水曜日, 16:30~17:30 上記時間帯以外でも可能な時間であれば随時対応します。事前にご連絡ください。 助産師は「お産の専門家」です。母子の安全を守り、児は人生の第1歩を「優しく」迎えられ、産婦はポジティブな出産体験となるようなケアの実践を目指して、その基本的知識と技術を身につけましょう。主体的に学び、繰り返し自己研鑽に励んでください * ICT の活用：分娩介助デモンストレーションは Web Class で確認できます。予習・復習に活用してください。				

開設科目名	助産診断・技術学Ⅲ (産褥・新生児・乳幼児期)	科目コード	MWSM903	開設期	前期
単位数(履修区分)	3 単位(必修)	時間数	45 時間	授業区分	講義・演習
責任者	野口ゆかり	担当者	野口ゆかり、浅野美智留、柳本朋子、川上桂子、井口亜由 寺田恵子		

授業の概要(授業の目的)

産褥期の女性・新生児・乳幼児期およびその家族の主に正常経過・ローリスクの対象者への、診断とケアを行うために必要な知識・技能・態度を学修する。

産褥期に必要な健康教育についての知識と技能と態度を学修する。

学修の到達目標	ディプロマポリシー (学位授与の方針との関連)
1.産褥期の女性・新生児と家族の身体的・心理的・社会的状態について理解できる。褥婦では、生理的変化に伴う退行性変化・進行性変化および自己概念・役割機能・相互依存を新生児では、生理的変化・相互依存について理解する。	1.人間の尊厳といのち・生命の尊重 2.自然性を尊重したケア/ケアリング ◎ 3.各ライフステージにおける 全人的理解
2.産褥・新生児期の演習事例を用いて、フィジカルアセスメント・問診などの基礎的な技術を修得し、正常からの逸脱を早期発見するためのアセスメント、個別的で、適時な、経過診断・健康生活診断を導き、より wellness な助産計画の立案・ケア/ケアリングの実施・評価・修正を学内実施・評価・修正できる。	◎ 4.根拠に基づく実践 7.専門職としての主体性・自律性
3.褥婦のセルフケア能力向上・母児の愛着促進・育児技術向上のため、褥婦・新生児とその家族の状況を踏まえ、独立性を考慮した健康教育の企画・指導案を作成し、学内実施・評価・修正できる。	
4.産後の家族計画(受胎調節等)に必要な基礎知識・技能・態度を理解し、学内演習実施できる。	
5.母乳育児確立・継続のための適切なケア/ケアリングおよび今後の支援の方向性を考察できる。	
6.乳幼児に必要な健診・健康教育・訪問指導についての知識・技能・態度を理解する。	

授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)

※遠隔授業の方法:原則 Teamsによる同時双方向型

回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	産褥期の助産過程 -事例を用いた助産過程の立案 産褥期の健康教育 企画書・指導案・媒体作成について	講義 <対面>	野口	予習:教科書の該当箇所、事前に指定の文献を読んでおく、 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	2 時間
2	助産師が行う産褥期のケア 産褥期の適応とアセスメント 生理的・身体的变化・フィジカルアセスメント	講義 <対面>	野口	予習:教科書の該当箇所、事前に指定の文献を読んでおく、 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	2 時間
3	産褥期の適応とアセスメント 心理・社会的・文化的变化とアセスメント	講義 <対面>	野口	予習:教科書の該当箇所、事前に指定の文献を読んでおく、 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	2 時間
4	褥婦のニーズとセルフケア ①退行性変化②日常生活	講義 <対面>	野口	予習:教科書の該当箇所、事前に指定の文献を読んでおく、 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	2 時間
5	褥婦のニーズとセルフケア③親役割獲得 ④愛着形成⑤社会資源	講義 <対面>	野口	予習:教科書の該当箇所、事前に指定の文献を読んでおく、 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	2 時間
6.	産褥期のケア① 褥婦のフィジカルイグザミネーション(診察・計測)	演習 <対面>	野口	予習:教科書の該当箇所、事前に指定の文献を読んでおく、 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	2 時間
7	新生児のケア① 新生児の適応生理とアセスメント	演習 <対面>	柳本	予習:教科書の該当箇所、事前に指定の文献を読んでおく、 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	2 時間
8	新生児のケア② 新生児のフィジカルイグザミネーション(診察・計測)	講義・演習 <対面>	柳本	予習:教科書の該当箇所、事前に指定の文献を読んでおく、 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	2 時間
9	新生児のケア③ 新生児のニーズとケア(授乳姿勢・沐浴)	演習 <対面>	柳本 井口	予習:参考書①該当箇所の動画を視聴しておく 新生児期の Web Class 動画を視聴しておく	2 時間
10	母乳育児支援① 児の母乳吸啜	講義 GW <対面>	浅野	予習:教科書の該当箇所、事前に指定の文献を読んでおく、 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	2 時間
11	母乳育児支援② 乳汁生成 I 期・II 期のケア	講義 GW <対面>	浅野	配布資料の復習	2 時間
12	母乳育児支援③ (事例・アセスメント・診断・助産計画立案・展開)	講義 <対面>	浅野	配布資料の復習	2 時間
13	母乳育児支援④ 母乳 BS ケア	講義 実技演習 <対面>	寺田	予習:事前配布資料を読んでおく 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	2 時間

14	産褥期の健康教育 1 -① 沐浴指導 基本理解 企画立案	GW.演習 <対面>	野口	予習：教科書の該当箇所、事前に指定の文献を読んでおく、 復習：演習の振り返りと考察を行う	2 時間
15	産褥期の健康教育 2 -① 退院指導 （母親・新生児） 基本理 解 企画立案	GW 演習 <対面>	野口	予習：教科書の該当箇所、事前に指定の文献を読んでおく、 復習：演習の振り返りと考察を行う	2 時間
16	産褥期の健康教育 3 -① 家族計画指導 基本理解 企画立案	GW 演習 <対面>	野口	予習：教科書の該当箇所、事前に指定の文献を読んでおく、 復習：演習の振り返りと考察を行う	2 時間
17	産褥期の健康教育 1 -② 沐浴指導 シミュレーション	演習 <対面>	野口	予習：教科書の該当箇所、事前に指定の文献を読んでおく、 復習：演習の振り返りと考察を行う	2 時間
18	産褥期の健康教育 2 -② 退院指導 （母親・新生児） シミュレーション	演習 <対面>	野口	予習：教科書の該当箇所、事前に指定の文献を読んでおく、 復習：演習の振り返りと考察を行う	2 時間
19	産褥期の健康教育 3 -② 家族計画指導 シミュレーション	演習 <対面>	野口	予習：教科書の該当箇所、事前に指定の文献を読んでおく、 復習：演習の振り返りと考察を行う	2 時間
20	産褥期の健診・家庭訪問 4 -① 産後 2 週間	講義・演習 <対面>	川上	予習：教科書の該当箇所、事前に指定の文献を読んでおく、 復習：演習の振り返りと考察を行う	2 時間
21	産褥期の健診・家庭訪問 4 -② 産後 1 か月	講義・演習 <対面>	川上	予習：教科書の該当箇所、事前に指定の文献を読んでおく、 復習：演習の振り返りと考察を行う	2 時間
22	乳幼児期の健診・保健指導 4 か月健診・1歳半健診・3歳児健診	講義 GW <対面>	井口	予習：教科書の該当箇所、事前に指定の文献を読んでおく、 復習：演習の振り返りと考察を行う	2 時間
23	乳幼児の健康診査・健康増進・まとめ	講義・討議 <対面>	野口	予習：事前に指定の文献を読んでおく、 復習：授業全体の知識を教科書・配布資料で確認しておく	2 時間

成績評価方法・基準	課題レポート 健康教育・保健指導案・助産過程等の最終成果物の提出 健康教育・保健指導演習・発表	30% (評価者：野口) 20% (評価者：野口) 40% (評価者：野口・柳本・川上・井口)
課題に対するフィードバック	課題提出後および演習前後に課題に対して、各教員よりコメントします。	
教科書	①我部山キヨ子編集：助産学講座 7 助産診断・技術学Ⅱ 書籍+e-テキスト 最新版	
参考書・参考文献	① 動画配信「医映像セレクト 50」ID/PW 配布 ② 江藤宏美編：産褥期・新生児期・乳幼児期のケア、助産師基礎教育テキスト第 6 卷、日本看護協会出版会、2022 ③ 北川眞理子 今日の助産 改定第 4 版 南江堂 2019 ④ 日本助産診断・実践研究会：マタニティ診断ガイドブック、第 6 版、医学書院、2020 ⑤ Neo-Nursing 研究会ロイの看護診断を用いた母性看護過程—事例を用いた論理的思考の展開—、三省堂書店 2018 ⑥ 中村幸代編：根拠がわかる母性看護過程 事例で学ぶ ウエルネス志向型ケア計画 南江堂 2018 ⑦ 日本産婦人科学会/日本産婦人科医会編集 産科婦人科診療ガイドライン 2020 ⑧ 石村由利子編集：根拠と事故防止からみた母性看護技術第 3 版 2021	
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	オフィスアワー：火曜日 12：10～13：00 対面およびオンライン Teams 可 連絡先：2号館 1 階 L 221 y-noguchi@stmaryac.jp.onmicrosoft.com ※エビデンスに裏付けられた知識と確かな技術・ケア/ケアリング・情緒的支援の修得が求められます。 繰り返し自己学習およびグループ演習で質の向上を目指します。 その他：「心理的問題をもつ妊産褥婦のケア」「積極的傾聴法」「思春期の保健教育」「妊産褥婦の不安と母性意識」に関する研究成果を一部参照して、講義を展開します。	

開設科目名	地域・国際母子保健学	科目コード	MWSM904	開設期	通年
単位数（履修区分）	2 単位（必修）	時間数	30 時間	授業区分	講義
責任者	川上桂子	担当者	川上桂子、野口ゆかり、浅野美智留、秦野環、近藤潤子、清水知子他		

#### 授業の概要（授業の目的）

地域で母子保健活動を展開するために、地域における看護職（保健師・助産師・看護師）の活動の実際および他職種との協働・連携の実際にについて学修する。特に、安心して産み育てることができる地域の基盤づくりにおける助産師の役割・責務・今後の展望について考察を深められるよう学修する。

世界における母子保健上の健康課題の現状や課題と、助産師の国際的な母子保健活動の実際にについて学修する。

学修の到達目標	ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連
1 母子保健の現状と動向、課題、母子保健活動の意義について理解できる。	
2 母子保健活動を行う上で必要な母子保健行政のしきみ・制度・施策を理解できる。	
3.地域母子保健活動と他職種との協働・連携の実際にについて説明できる。	2.自然性を尊重したケア/ケアリング
4. 国際社会における助産師の組織と活動について説明できる	5.他職協働・連携
5.世界各国における文化や慣習が人々の健康に与える影響をリプロダクティブ・ヘルス/ライツの観点から考察できる。	6.多様性を尊重した地域国際社会への貢献
6.世界の母子保健活動から「出産」及び「助産」の普遍性について考察できる。	
7.地域・国際母子保健における助産師の役割と展望について考察できる	

#### 授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）※遠隔授業の方法：teams 又は Zoom による同時双方向型

回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	ガイダンス、地域母子保健活動の意義、日本と諸外国の母子保健の動向と課題	講義(遠隔)	川上	予習：教科書① 第1・2章（p.2-35）、第6章（P216-229）を読んでおく	1 時間
2	地域母子保健行政の体系①：日本の母子保健行政のしきみ、と制度の概要	講義〈対面〉	川上	予習：教科書① 第1・2章（p.36-77）を読み、母子保健に関する法律をあげておく	1 時間
3	地域母子保健行政の体系②：日本の母子保健施策とその変遷、活動の基盤 子育て支援活動企画テーマ検討	講義〈対面〉	野口	予習：教科書① 第3章（p78-109.）関連 教科書① 第4章（p.110-133）関連	1 時間
4	地域母子保健活動と他職種連携の実際①：久留米市の母子保健行政のしきみ・制度・施策、他職連携・協働、女性のライフサイクルへの支援・妊産婦訪問指導の理論と実際	講義<遠隔>	清水	予習：教科書① 第3章（p.134-77） 久留米市の母子保健活動について事前学習してておく	1 時間
5	地域母子保健活動と他職種連携の実際②： 久留米市の母子保健活動-新生児・褥婦訪問指導・乳幼児全戸訪問事業・特定妊婦、DV、児童虐待への支援	講義〈対面〉	対馬	予習：教科書① 第5章関連 復習：配布資料の復習	1 時間
6	地域母子保健活動と他職種連携の実際③：久留米市の母子保健活動-母子健康手帳交付時の保健指導・出生後の手続き・申請等への支援・在日外国人妊産婦への支援・災害時/コロナ対策の地域母子保健活動の実際	講義〈対面〉	西谷	予習：教科書① 第5章関連 復習：配布資料の復習	1 時間
7	地域母子保健活動と他職種連携の実際④： 開業助産師の地域母子保健活動	講義〈対面〉	浅野	予習：教科書① 第5章（p.181-202） 講義で課題を提示する	1 時間
8	地域母子保健活動の展開と他職種連携⑤：開業助産師の子育て支援	講義・演習	浅野	講義で課題を提示する	1 時間
9	子育て支援活動企画発表	発表・討議 〈対面〉	野口・ 川上		1 時間
10	在日外国人の母子保健	講義 〈対面〉	秦野	適宜課題を示す	1 時間
11	国際社会における助産師の組織と活動 ・ICM（国際助産師連盟）の機能・基本文章・	講義(遠隔)	近藤	予習：講義前に提示した資料を読んでおく。 復習：講義内容	1 時間

	世界基準などについて ・WHO（世界保健機構）の動向と助産師に関する見解について				
12	国際保健の潮流 、我が国の援助の動向 ・SDGS のビジョン、 妊産婦死亡率、 世界の妊産婦の死因、 5 歳未満児死亡率 乳児死亡率、 -世界の 5 歳未満児・新生児の死因	講義〈遠隔〉	近藤	講義前に提示した資料を読んでおく。	1 時間
13	世界の助産師の教育と技術水準	講義〈対面〉	浅野	講義で課題を提示する	1 時間
14	国際化社会と母子保健・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ	講義〈対面〉	浅野	講義で課題を提示する	1 時間
15	国際母子保健活動 「人間的なお産」 「助産」の普遍性	講義・討議 〈対面〉	川上	予習：助産師が行う国際母子保健活動を 1 つ調べておく。助産の普遍性について考えをまとめておく。 講義終了時に課題レポートについて指示する。	1 時間
成績評価方法・基準	①課題成果・発表 20% （評価者：野口） ②課題レポート 40% （評価者：浅野、川上） 授業態度・授業への参加度 40% 評価者（担当者教員全員）				
課題に対するフィードバック	授業内・プレゼン発表時にコメントする				
教科書	・我部山キヨ子編：助産学講座 9 、地域母子保健・国際母子保健、医学書院、最新版				
参考書・参考文献	福井トシ子編 新版 助産師業務要覧、アドバンス編 最新版 工藤美子編 助産師基礎教育テキスト第 1 卷 助産概論 日本看護協会出版会 最新版 マーズデンワーグナー著 WHO 勧告に見る望ましい周産期ケアとその根拠 メディカ出版 2002 戸田律子訳 WHO の 59 条 お産のケア実践ガイド 農文協 2004 分娩期ケアガイドライン翻訳チーム WHO 推奨 ポジティブな出産体験のための分娩期ケア 医学書院 2021 三砂ちづる編 「助産の本質」 南山堂 2021				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	川上桂子（2 号館 1 階 L219 室） 水曜日 16:30~17:30 上記以外でも可能な時間であれば隨時対応いたします。事前にご連絡ください。 地域・国際母子保健活動の基盤となる科目です。 国内外の母子の現状や助産師の母子保健活動に目を向け、グローバルな視点で「助産」の力を一緒に考えていきましょう。				

開設科目名	助産管理学	科目コード	MWSM905	開設期	通年			
単位数（履修区分）	2 単位（必修）	時間数	30 時間	授業区分	講義			
責任者	野口ゆかり	担当者	野口ゆかり、浅野美智留、川上桂子、堀内成子、斎藤由香、寺田恵子					
<b>授業の概要（授業の目的）</b>								
周産期医療におけるチーム医療の理念のもとに、対象の安全・安心・満足を支えるための助産管理の概論・基本理念について学修する。 様々な助産活動の場（具体的には助産所、診療所、病院）において助産施設管理者が行う助産管理の実際（業務管理、事故防止、救急対応、災害看護、感染対策、リスクマネジメント）について学修する。								
学修の到達目標				ディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連				
1. 様々な助産活動の場（助産所、診療所、病院）における助産施設管理者が行う助産管理の実際（業務管理、事故防止、救急対応、災害看護、感染対策、リスクマネジメント）を理解できる。 2. 総合周産期母子医療センター組織における施設の構造、設備、運営管理の現状を理解できる。 3. 助産所の開設、管理、運営の実際および助産師の役割について理解し、考察できる。 4. 周産期医療における母子とその家族の安心・安全・満足を支えるための継続的な助産管理システム・助産師の就業環境・業務・条件整備の意義について理解し、考察できる。				5.他職種との協働・連携 ◎7.専門職としての主体性・自律性				
<b>授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）※遠隔授業の方法：原則 Teamsによる同時双方向型</b>								
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間			
1	周産期医療サービスにおける質の保証 1) 助産業務管理	講義 <対面>	斎藤	予習：教科書の該当箇所、事前資料を読む 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	2 時間			
2	Women-centered Care 我が国における助産管理の現状と課題	講義 <遠隔>	堀内	予習：教科書の該当箇所、事前資料を読む 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	2 時間			
3	周産期医療における質と安全の保証	講義 <遠隔>	堀内	予習：教科書の該当箇所、事前資料を読む 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	2 時間			
4	リーダーシップ：起業・変革・改善①	講義 <遠隔>	堀内	予習：教科書の該当箇所、事前資料を読む 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	2 時間			
5	リーダーシップ：起業・変革・改善②	講義 <遠隔>	堀内	予習：教科書の該当箇所、事前資料を読む 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	2 時間			
6	助産師の活動と法的責任	講義 <対面>	野口	予習：教科書の該当箇所、事前資料を読む 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	2 時間			
7	周産期における医療安全とリスクマネジメント	講義 <対面>	浅野	予習：教科書の該当箇所、事前資料を読む 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	2 時間			
8	周産期医療サービスにおける質の保証 2) 助産業務管理 病棟管理	講義 <対面>	斎藤	前回（第1回）の講義を復習しておくこと。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	2 時間			
9	周産期医療サービスにおける質の保証 3) 周産期管理システムとリスクマネジメント	講義 <対面>	斎藤	予習：教科書の該当箇所、事前資料を読む 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	2 時間			
10	周産期医療サービスにおける質の保証 4) 産科診療所における助産サービス管理の実際	講義 <対面>	野口	予習：教科書の該当箇所、事前資料を読む 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	2 時間			
11	周産期医療サービスにおける質の保証 5) 助産所における助産サービス管理の実際	講義 <対面>	寺田	予習：教科書の該当箇所、事前資料を読む 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	2 時間			
12	周産期医療サービスにおける質の保証 6) 助産師の活動範囲のひろがりと展望	講義 <対面>	寺田	予習：教科書の該当箇所、事前資料を読む 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	2 時間			
13	災害時の助産管理	講義 <対面>	川上	予習：教科書の該当箇所、事前資料を読む 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	2 時間			
14	総合周産期母子センターにおける助産管理の実際	講義<対面>	野口	講義時に資料提示予定 (GS 伊東師長)	2 時間			
15	まとめ 課題・今後の展望発表・討議	講義<対面>	野口	講義時に資料提示予定	2 時間			
成績評価方法・基準	成績評価者：野口 100%内訳：試験 60%、課題発表レポート 30%、講義参加態度 10%							
課題に対するフィードバック	課題に対して、講義担当者より総評を行う。							
教科書	①我部山キヨ子編：助産学講座 10 助産管理 第 6 版、医学書院、2022 e-テキスト ②我部山キヨ子編：助産学講座 9 地域母子保健・国際母子保健、医学書院、最新版 e-テキスト							
参考書・参考文献	福井トシ子編 [新版] 助産師業務要覧 I 基礎編 II 実践編 III アドバンス編 日本看護協会出版会（最新版）							
オフィスアワー・学習相談 メッセージ・その他	オフィスアワー 野口 ゆかり 火曜日 12:10～13:00 対面およびオンライン Teams 可 連絡先：2号館1 L 221 メールアドレス:y-noguchi@stmaryac.jp.onmicrosoft.com その他：「助産師の役割意識」等に関する研究成果を一部参照して、講義を展開します。							

開設科目名	基礎助産学実習	科目コード	MWSM906	開設期	前期
単位数（履修区分）	5 単位（必修）	時間数	225 時間	授業区分	実習
責任者	柳本朋子	担当者	柳本朋子、野口ゆかり、川上桂子、桃井雅子、浅野美智留、井口亜由		

授業の概要（授業の目的）

妊娠褥婦を全人的にとらえ、正常な経過をたどる分娩を中心とした助産過程の実践を系統的に行う。継続的に女性・胎児・新生児およびその家族を受け持ち、助産過程の展開を通して個別性の高い助産について学修する。

学修の到達目標	ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連
1. 妊娠経過に伴う妊婦および胎児の身体的・心理社会的基本的ニーズを充足するためのケアを、実践を通して理解し、計画・実施することができる。	◎①人間の尊厳と生命の尊重 ②自然性を尊重したケア/ケアリング ③各ライフステージにおける全人的理解
1) 妊娠期の診断における診査方法を理解し、時期診断・経過診断ができる。	◎④根拠に基づく実践 ⑤他職種との協働・連携
2) 妊娠期に必要な個別性に応じた健康教育について理解できる。	⑥多様性を尊重した地域・国際貢献 ⑦生涯を通しての専門職としての主体性自律性
2. 分娩の三要素、産婦の情報から分娩開始、分娩時期診断、分娩進行経過の予測と課題を診断することができる。	
1) 産婦およびその家族の身体的・心理社会的基本的ニーズを充足するケアを理解し、助産師の助言を得ながら、計画・実施することができる。	
2) 基本的な分娩介助技術を用いて、助産師の指導のもと、分娩介助の一連の流れを実施することができる。	
3. 褥婦および新生児の身体的・心理社会的基本的ニーズを充足するケアを、実践を通して理解し、計画・実施することができる。	
4. 妊娠期から産褥 1 か月迄の女性と胎児・新生児およびその家族への個別性の高いケアを、実践を通して理解し、計画・実施することができる。	

授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）

回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
	助産学実習要領参照 ①産科外来通院中の妊婦の妊婦健診における助産師の役割について考察する 妊婦健診、健康教育の実施 ②分娩期助産過程の展開 1~3 例の分娩介助の段階にあり、分娩期における基本的な助産過程を展開する。助産師・教員と共に助産過程を振り返り、対象者中心の助産過程について考察する。 情報収集 分娩時期診断、分娩経過診断 助産ケア計画・実施・介入 ③産科病棟入院中の褥期および新生児の退院までのケア計画の実施・評価 ④妊娠期から産褥 1 か月迄の妊婦と胎児・新生児およびその家族を継続的に受け持ち、継続的な助産過程を展開する	実習	柳本 野口 川上 桃井 浅野 井口	実習要領を熟読しておく 前期の講義内容を復習しておく 繰り返し分娩介助練習を行っておく	

成績評価方法・基準	助産学実習評価に基づき評価する 100% (担当者全員)
課題に対するフィードバック	この科目は臨床指導助産師および教員から常にタイムリーにフィードバックします。
教科書	①我部山キヨ子他 助産学講座 3・4・5・6・7・8巻 医学書院 最新版 書籍+電子書籍 ②平澤恵美子監修：写真でわかる助産技術アドバンス インターメディア ②田村正徳 新生児蘇生法テキストメジカルビュー 最新版
参考書・参考文献	助産師基礎教育テキスト 第4・5・6巻 日本看護協会出版会 最新版 北川眞理子他：今日の助産,南江堂 日本産婦人科学会/日本産婦人科医会編集 産科婦人科診療ガイドライン 2020 井上裕美他監修 病気がみえる 10 産科 メディックメディア

	<p>その他、講義・演習で使用・紹介したテキストおよび資料 動画配信「医学映像セレクト」50巻中の関連内容の映像の事前試聴</p>
オフィサー 学習相談 メッセージ その他	<p>柳本朋子 火曜日 16:30 ~ 17:30 上記時間帯以外にも可能な時間であれば随時対応いたします。事前にご連絡ください。 連絡先：2号館 L218 メールアドレス:yanagimoto@stmaryacjp.onmicrosoft.com メッセージ：助産学のコアとなる学修時間になります。しかし分娩介助だけに目配り・気配りするのではなく、胎児も含めたご家族へのケアリングをコアに据えて、豊かな経験をスタートさせてください。 継続事例実習では一人の妊婦を継続して受け持ち、助産過程を展開します。対象者とその家族に真摯に向き合い、継続して寄り添うことの重要性について学修しましょう。</p>

開設科目名	発展助産学実習	科目コード	MWSM907	開設期	通年
単位数（履修区分）	5 単位（必修）	時間数	225 時間	授業区分	実習
責任者	柳本朋子	担当者	柳本朋子、野口ゆかり、川上桂子、桃井雅子、浅野美智留 井口亜由		
授業の概要（授業の目的）					
基礎助産学実習で修得した基礎的知識・技術・態度を統合・発展させ、助産過程の展開を通して、ハイリスク妊娠/ハイリスク分娩の女性・胎児・新生児およびその家族への助産ケアを学修する。さらに、産科学・新生児学・助産学におけるエビデンスに基づいた助産過程の展開と、助産過程を通してケアリング能力を高めるための学修をする。					
学修の到達目標					
<p>1. 妊娠・分娩・産褥期にある対象者とその家族の身体的・心理社会的健康状態、胎児・新生児の成長発達および健康状態について、的確な臨床判断に基づいた助産過程が展開できる。</p> <p>1) 基本的な分娩介助技術を用いて、助産師の指導のもと、分娩介助の一連の流れを主体的に実施することができる。</p> <p>2) 乳房の生理的变化、新生児の状態に合わせて適切な母乳育児支援を立案し、実施・評価できる。</p> <p>3) 妊娠期から産褥 1 カ月迄の女性と胎児・新生児およびその家族への個別性の高い助産過程を展開できる。</p> <p>3. 相談・教育・ケア技術を用いて、継続的で対象の個別性を尊重した安全・安楽なケアを実践できる。</p> <p>4. ハイリスク妊娠産褥婦と胎児・新生児およびその家族を受け持ち助産過程の展開ができる。</p> <p>5. NICU の特徴、入院している子どもと家族へのケアについて修得できる。</p> <p>6. 対象者の尊厳を遵守し、QOL を高めるケアについて振り返りができる。</p>					
ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連					
<p>◎①人間の尊厳と生命の尊重      ②自然性を尊重したケア/ケアリング      ③各ライフステージにおける全人的理解      ◎④根拠に基づく実践      ⑤他職種との協働・連携      ⑥多様性を尊重した地域・国際貢献      ⑦生涯を通しての専門職としての主体性      自律性</p>					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
	<p>助産学実習要項参照      &lt;分娩介助実習&gt;      【前半】      4～6 例目の分娩介助の段階にあり、分娩期における助産過程を発展的に展開する</p> <p>1) 助産過程の展開（発展的な知識・技術の習得）      情報収集（分娩の 4 要素）      分娩時期診断、分娩経過診断      助産ケア計画・実施・評価      産婦への個別的ケア</p> <p>2) 退院までの母子のケア計画・実施・評価</p> <p>3) 健康教育の実施・評価（集団指導、退院指導、沐浴指導等）</p> <p>【後半】      7～10 例目の分娩介助の段階にあり、分娩期における助産過程を応用的・自立的に展開する</p> <p>&lt;継続事例実習&gt;      基礎助産学実習に引き続き助産過程を展開する</p> <p>&lt;ハイリスク実習&gt;      MFICU におけるハイリスク妊娠産褥婦の助産過程の展開      NICU におけるハイリスク新生児に対するケアの見学</p>	実習	柳本、 野口 川上 桃井 浅野 井口	前期の講義内容を復習 ケースの振り返りを確實に行う	
成績評価方法・基準	助産学実習評価に基づき評価する 100% (担当者全員で評価)				
課題に対するフィードバック	この科目は臨床指導助産師および教員から常にタイムリーにフィードバックします。				
教科書	<p>①我部山キヨ子他 助産学講座 3・4・5・6・7・8巻 医学書院 最新版 書籍+電子書籍</p> <p>②平澤恵美子監修：写真でわかる助産技術アドバンス インターメディア</p> <p>③田村正徳（最新号）新生児蘇生法テキストメジカルビュー</p>				
参考書・参考文献	<p>助産師基礎教育テキスト 第 4・5・6巻 日本看護協会出版会</p> <p>日本産婦人科学会/日本産婦人科医会編集 産科婦人科診療ガイドライン 2020</p> <p>井上裕美他監修 病気がみえる 10 産科 メディックメディア</p> <p>北川眞理子他：今日の助産,南江堂.</p> <p>その他、講義・演習で使用・紹介したテキストおよび資料</p> <p>動画配信「医学映像セレクト」50巻中の関連内容の映像の事前試聴</p>				

オフィスアワー  
学習相談  
メッセージ  
その他

柳本朋子：火曜日 16:30 ~ 17:30  
記時間帯以外でも可能な時間であれば随時対応します。事前にご連絡ください。  
連絡先：2号館 L218 メールアドレス: yanagimoto@stmaryacjp.onmicrosoft.com  
メッセージ：助産学のコアとなる学修ですが、技術偏重にならないよう、分娩介助をさせていただくことへの感謝や畏敬の念を育んでください。命の誕生に真摯に向き合い、責任を持てるために、自分を育てさせてもらう姿勢で実習をしてください。

開設科目名	地域・国際母子保健学実習	科目コード	MWSM908	開設期	通年			
単位数（履修区分）	2 単位（必修）	時間数	90 時間	授業区分	実習			
責任者	川上桂子	担当者	川上桂子、野口ゆかり、柳本朋子					
<b>授業の概要（授業の目的）</b>								
<p>地域において助産師が実践している母子保健活動に参画し、地域で生活する女性とその家族の生涯にわたる健康教育・健康支援・子育て世代包括支援について学修する。</p> <p>地域国際母子保健における助産師の役割・責任（地域との連携・協働）についての考察を深める。</p> <p>産後/生後から1ヶ月～産後/生後4ヶ月程度までの母子の個別性の高い助産過程を展開する。</p>								
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連				
1. 地域における母子保健事業および母子保健活動の実際について理解できる。				2. 自然性を尊重したケア/ケアリング				
2. 地域で生活する妊娠期から子育て中の母子とその家族の現状を理解する				◎ 5. 他職種との協働・連携				
3. 母子保健活動の実際から、母子とその家族に対する支援について考察できる。				6 多様性を尊重した地域・国際貢献				
4. 地域で活動する助産師の母子保健活動より地域・他職種との連携・協働を説明できる。								
5. 助産師が行う「いのちの授業」に参画して、助産師が行う教育活動について考察できる								
6. 地域での助産師の活動を通じ、助産実践力の強化を図る。								
7. 助産師の地域で果たす役割について考察できる。								
<b>授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）</b>								
回	授業内容	担当者	方法	予習・復習(学習課題)	取組時間			
	実習要領参照  【実習の展開】 1) 地域で活動する助産師の母子ケア、健康・育児相談、その他の教育活動に参加する  2) 自らテーマを選択し、助産師の地域で果たす役割について考察しレポートにまとめる。  3) 学生間で経験を共有する	各指導教員	実習	・実習要項およびオリエンテーション資料を読んでおく ・各実習先より事前学習課題が提示される。 関連する教科書・参考書・文献をよみ事前課題に取り組む。	10時間以上			
成績評価方法・基準	助産実習評価表 (80%)、レポート (20%) (各担当教員)							
課題に対するフィードバック	実習中および実習終了時に、個別にフィードバックを行う。							
教科書	助産学講座 1・3・7・9 医学書院 最新版							
参考書・参考文献	助産師基礎教育テキスト 第1・3・4・5・6巻 日本看護協会出版会 最新版 寺田恵子 いのちの授業 学研プラス 2011 平田喜代美、おっぱい110番 たま出版、平成11年 世界保健機関（著）：UNICEF/WHO 赤ちゃんとお母さんにやさしい母乳育児支援ガイド ベーシック・コース―「母乳育児成功のための10カ条」の実践 医学書院 2009 寺田恵子 BSケア基本の型―赤ちゃんの母乳吸啜メカニズムに基づく乳房ケア 日総研 2017							
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	川上 桂子（2号館1階 L219）水曜日、16:30～17:30 上記以外でも可能な時間であればご対応します。事前にご連絡下さい。 この実習は、地域での母子の生活に触れる機会となります。 また、地域における多様な助産師の活動・多職種連携の実際のみならず、開業助産師の知恵と技を学ぶ貴重な機会です。 自己の目標を明確にして積極的に実習に臨みましょう。							

開設科目名	助産学研究	科目コード	MWSD901	開設期	通年
単位数（履修区分）	2 単位（必修）	時間数	60 時間	授業区分	講義・演習
責任者	野口ゆかり	担当者	野口ゆかり、桃井雅子、柳本朋子、浅野美智留、川上桂子 片岡弥恵子		
授業の概要（授業の目的）					
<p>研究に関する理論や根拠（Evidence-based Midwifery）に基づいて、対象にとって最良のケアを実践するために、助産実践における EBM (Evidence-based midwifery) の重要性を理解し、その基本的な考え方とプロセス、活用方法について学修する。</p> <p>助産実践上の問題を明らかにし研究課題として発展させ、解決に向けた研究を遂行し論文にまとめる基礎的能力を養うために、助産学に広く関連した課題について、事例及び文献研究を行い助産実践への応用について学修する。</p>					
学修の到達目標				ディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連	
1. 研究のプロセスに則り、助産実践の基盤構築につながる研究の過程が展開できる。 2. 対象者の人権を尊重し、倫理的配慮の本に研究が実践できる。 3. 対象に最善のケアを提供するうえで、“助産実践における根拠にもとづくケア”のための助産学研究の意義、系統的文献検索方法および実際研究方法について理解・考察できる。 4. 助産実践における Evidence-based Nursing および Evidence-based Midwifery の基本となる考え方とステップ、活用方法を理解できる。 5. 上記 4 をもとに研究論文のクリティイクを試み、その過程を踏むことで、研究にもとづくエビデンスの吟味と適用の実際について理解（思考・判断）を深めることができる。 6. 上記 3～5 をもとに自己の研究テーマを見出し、研究目的にそって、エビデンスを引用しつつ、論文・抄録の作成を行える。 7. 研究で得られた知見を、今後の看護・助産ケアに活用できるよう考察できる。 8. 研究をまとめ、発表することができる。 9. 研究発表会において、他者の意見を聞き、自・他の研究成果を考察・評価できる。				1. 人間の尊厳といのち・生命の尊重 2. 自然性を尊重したケア/ケアリング 3. 各ライフステージにおける全人的な理解 ◎4. 根拠に基づく実践 5. 他職種との協働・連携 6. 多様性の尊重した地域・国際貢献 ◎7. 専門職としての主体性・自律性	
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）			※遠隔授業の方法：原則 Teams による同時双方向型		
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習（学習課題）	取組時間
1	助産研究とは 研究のプロセスについて 研究テーマの選定	講義 <対面>	野口	予習：学部研究について振りまとめておく 復習：助産領域で何をあなたの“課題”とするか考える	2 時間
2	研究計画書の書き方	講義 <対面>	野口	予習：テキストを読んでおく 復習：演習を振り返り、研究計画書案を考えておく。	2 時間
3	系統的文献検索	講義 <対面>	桃井		
4～7	助産実践における根拠にもとづくケアのために 1) 【EBN・EBM の考え方とステップ、活用方法】 ① EBN・EBM の考え方、問題の定式化	講義 <遠隔>	片岡	予習：Web 課題資料を精読 復習：テキストおよび資料の復習	2 時間
	② 文献検索	講義 <遠隔>	片岡	予習：Web 課題資料を精読 復習：テキストおよび資料の復習	2 時間
	③ エビデンスの吟味と適用	講義 <遠隔>	片岡	予習：Web 課題資料を精読 復習：テキストおよび資料の復習	2 時間
	2) 【研究論文のクリティイクについて】	講義 <遠隔>	片岡	予習：事前に配布する研究論文を精読 復習：講義をもとに研究論文を読み直す	2 時間
8	助産学研究の実際①	講義 <対面>	柳本 川上	予習：事前配布資料を読む 復習：テキストおよび資料の復習	2 時間
9	助産学研究の実際②	講義 <対面>	浅野 野口	予習：事前配布資料を読む 復習：研究事例をもとに自らの研究課題案を考える	2 時間

10~12	文献のクリティーク①②③	演習 <遠隔>	野口 柳本 川上	予習：自らの研究テーマに沿った研究論文を検索 ・選択し、吟味したものをクリティーク用に検討 準備する。 ・各研究 G 内で発表する。 復習：整理・考察を深める	2 時間	
13~15	研究実施①②③	演習 <遠隔>		予習：助産領域で何をあなたの今の“課題”とするか どのように定式化できるのか考えておく。	2 時間	
16~11	研究テーマ・研究計画作成	演習 <遠隔>		復習：授業の学びを統合整理し、自分の研究課題 (仮)を見出し、課題について整理する。	2 時間	
20	中間発表会 (研究テーマ・研究計画)	演習 対面		ゼミ前に、資料をまとめておく。	2 時間	
21~26	研究実施①②③④⑤⑥	演習 対面		ゼミで個別もしくはグループ討議で研究内容を深める	2 時間	
27	論文・1次抄録・発表 PP 作成①	演習 <遠隔>			2 時間	
28	研究発表準備	演習 <対面>		予習：発表・資料の準備を行う 復習：討議での意見をもとに整理する。	2 時間	
29	研究の発表①②			論文・抄録を完成させる	2 時間	
30	まとめ 抄録・論文提出評価	対面	野口			

成績評価方法・基準	成績評価 評価者：①野口 60% ②野口・柳本・川上 （各ゼミ評価 40%） 内訳：①授業での参加状況・課題レポート 60% ②研究プロセス・論文・抄録作成・ゼミでの研究活動状況を 40%とする。
課題に対するフィードバック	課題のフィードバックは、本科目の授業中および終了後に、Teams 等にて行います。
教科書	我部山キヨ子編：基礎助産学 [1] 助産学概論第 5 版、医学書院 書籍+e-テキスト
参考書・参考文献	牧本清子・山川みやえ編著：よくわかる看護研究論文のクリティーク第 2 版、日本看護協会出版、2020. 前原澄子訳：助産学研究入門－エビデンスにもとづく実践をめざして、医学書院、2003 南 裕子 野嶋佐由美：看護における研究 第 2 版 日本看護協会出版会電子版、2020 黒田裕子：黒田裕子の看護研究 step by step 第 5 版、医学書院 2017
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	* オフィスアワー：火曜日、12：10～13：00 対面およびオンライン Teams 可 * 2 号館 1 階 L211 <a href="mailto:y-noguchi@stmaryac.jp.onmicrosoft.com">y-noguchi@stmaryac.jp.onmicrosoft.com</a> * 学習相談：上記時間帯以外にも可能な時間であれば随時ご対応いたします。事前にメールで予約をお取り願います。  * メッセージ：科学的根拠に基づく助産実践を目指して、研究によるエビデンスの確立のための方法と一緒に学びます。 その他：「大学生の性」「幼児期の性教育」等に関する研究成果を一部参照して、講義を展開します。

開設科目名	周産期ハイリスクケア	科目コード	MWSD902	開設期	通年			
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	30時間	授業区分	講義・演習			
責任者	野口ゆかり	担当者	野口ゆかり、柳本朋子、浅野美智留、川上桂子 堀大蔵、下村卓也、田中佳代、峰原奈緒子					
<b>授業の概要(授業の目的)</b>								
周産期における主にハイリスク妊娠・分娩・産褥・産後の女性への対応に必要な知識・診断を学び、ハイリスクケアについての知識・技能・態度について学修する。								
<b>学修の到達目標</b>			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連					
1.ハイリスク妊娠・分娩・産褥・産後の女性への病態・診断・治療・管理に関する基礎的知識を説明できる。 2.ハイリスク妊娠・分娩・産褥・産後の女性に対する看護・ケア/ケアリングの知識・技能・態度を説明できる。 3.周産期における特定の問題を有するハイリスクの母児と家族への助産師としての役割について考察できる。			◎1.人間の尊厳といのち・生命の尊重 ◎2.自然性を尊重したケア/ケアリング ◎4.根拠に基づく実践					
<b>授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)</b>			※遠隔授業の方法:原則 Teamsによる同時双方向型					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間			
1	ハイリスク妊娠産褥婦と助産ケア・助産師の役割	講義 <遠隔>	野口	予習:教科書①の該当箇所、指定文献を読む 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	1時間			
2	周産期医療の動向とハイリスク妊娠産褥婦管理の課題	講義 <遠隔>	堀	予習:教科書の該当箇所、事前資料を読む 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	1時間			
3	妊娠期の異常 診断と治療② 前置胎盤、常位胎盤早期剥離、胎児付属物異常 他	講義 <遠隔>	下村	予習:教科書の該当箇所、事前資料を読む 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	1時間			
4	ハイリスク妊娠へのケア① 切迫流早産、妊娠高血圧症候群、多胎妊娠など	講義 <遠隔>	柳本	予習:教科書の該当箇所、事前資料を読む 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	1時間			
5	ハイリスク妊娠へのケア② 合併症妊娠 (心疾患・呼吸器疾患・甲状腺疾患・自己免疫疾患)	講義 <遠隔>	柳本	予習:教科書の該当箇所、事前資料を読む 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	1時間			
6	ハイリスク妊娠へのケア③ 糖尿病合併妊娠・妊娠糖尿病妊娠のケア	講義 <遠隔>	田中	予習:教科書の該当箇所、事前資料を読む 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	1時間			
7	分娩・産褥の異常 診断と治療 帝王切開、DIC、ショック、子宮復古不全 他	講義 <遠隔>	堀	予習:教科書の該当箇所、事前資料を読む 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	1時間			
8	分娩期の異常の異常 診断と治療 分娩時の緊急対応	講義 <遠隔>	下村	予習:教科書の該当箇所、事前資料を読む 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	1時間			
9	分娩期の異常とケア① 分娩の3要素の異常	講義 <対面>	川上	予習:教科書の該当箇所、事前資料を読む 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	1時間			
10	分娩期の異常とケア② 吸引分娩時のケア・帝王切開時のケア	講義 <対面>	川上	予習:教科書の該当箇所、事前資料を読む 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	1時間			
11	産褥期の異常と助産ケア① 生理的・身体的ケア	講義・演習 <遠隔>	野口	予習:教科書の該当箇所、事前資料を読む 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	1時間			
12	産褥期の異常と助産ケア② 母乳トラブル時のケア	講義 <対面>	浅野	予習:教科書の該当箇所、事前資料を読む 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	1時間			
13	ハイリスク入院妊娠へのケアの実際	講義・演習 <対面>	野口	予習:ゲストティーチャー事前資料を読む 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	1時間			
14	心理社会的ハイリスク妊娠婦と家族への看護①	講義 <遠隔>	峰原	予習:事前資料を読む 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	1時間			
15	総合まとめ ハイリスクケア発表	講義・討議 <対面>	野口	予習:事前資料 PP 発表準備 復習:授業内容の振り返りと考察をする。	1時間			
成績評価方法・基準	成績評価内訳:定期試験 80% (評価:野口 35%・川上 15%・浅野 15%・非常勤 35%) 授業 20% (評価者:野口)							
課題に対するフィードバック	非常勤講師の講義の後、復習をしてわからなかった箇所は質問を受けます。							
教科書	①小林康江編 (2022) :助産師基礎教育テキスト、第7巻、ハイリスク妊娠産褥新生児へのケア日本看護協会出版会 電子版							
参考書・参考文献	① 動画配信「医映像セレクト 50」ID/PW 配布 ② 我部山キヨ子、武谷雄二 (2022) :助産学講座6・助産診断・技術学Ⅱ、妊娠期、第6版、医学書院 ③我部山キヨ子、藤井知行 (2022) :助産学講座7、助産診断・技術学Ⅱ、分娩・産褥期、第6版、医学書院北川真理子 今日の助産 改定第4版 南江堂 2019④日本産婦人科学会/日本産婦人科医会編集: 産科婦人科診療ガイドライン 2020.							
オフィスアワー 学習相談 メッセージ	オフィスアワー:火曜日 12:10~13:00 対面およびオンライン Teams 可 連絡先:2号館1階 L221 y-noguchi@stmaryac.jp.onmicrosoft.com その他:「Preterm PROM 等」「意図しない妊娠」「周産期からの虐待予防」「産後の育児ストレス」に関する研究成果を一部参考して、講義を展開します。							

開設科目名	胎児・新生児・乳幼児ハイリスクケア	科目コード	MWSD903	開設期	通年
単位数（履修区分）	2 単位（必修）	時間数	30 時間	授業区分	講義・演習
責任者	柳本朋子	担当者	柳本朋子、井口亜由、前野泰樹、井上悠香里、橋本武夫、白川嘉継、堺 裕		

#### 授業の概要（授業の目的）

胎児管理を中心とした周産期医療の実際およびハイリスク新生児の概念、新生児の疾病や異常への対応について学修する。さらにハイリスク乳幼児の健康状態および発育状態を診断し、養育者への育児支援ができるための知識・技術・態度について学修する。

学修の到達目標	ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連
1.胎児の健康状態の診断に関する基礎知識について説明できる。	◎①人間の尊厳と生命の尊重
2.ハイリスク新生児の疾病や異常への対応に必要な基礎知識について説明できる。	◎③各ライフステージにおける全人的理解
3.ハイリスク新生児とその家族の生理的、心理社会的アセスメントとケアについて説明できる。	④根拠に基づく実践
4.新生児ケアの倫理的課題と今後の展望について考察できる。	⑤他職種との協働・連携
5.乳幼児の健康状態および発育・発達を診断するために必要な知識について理解できる。	

#### 授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）※遠隔授業の方法：teamsによる同時双方向型

回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	胎児の成長と発達 出生・胎内から胎外生活の適応	講義 <遠隔>	白川	予習：教科書の指定箇所を読んでおく。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	1 時間
2	新生児の生理 新生児の感覚能力	講義 <遠隔>	白川	予習：教科書の指定箇所を読んでおく。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	1 時間
3	ハイリスク新生児の主要な病態と治療① 呼吸器・循環器系の発達と障害	講義 <面接>	前野	予習：教科書の指定箇所を読んでおく。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	1 時間
4	ハイリスク新生児の主要な病態と治療② 黄疸、痙攣、低血糖、感染症 他	講義 <面接>	前野	予習：教科書の指定箇所を読んでおく。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	1 時間
5	ハイリスク新生児の主要な病態と治療③ 先天性心疾患、新生児外科疾患 他	講義 <面接>	前野	予習：教科書の指定箇所を読んでおく。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	1 時間
6	NICU とハイリスク新生児のケア① 体温、呼吸循環管理、栄養管理、感染予防、PVL、脳出血他	講義 <面接>	井上	予習：教科書の指定箇所を読んでおく。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	1 時間
7	NICU とハイリスク新生児のケア② 新生児の保育環境を整える 神経行動学的発達を助けるケア	講義 演習 <面接>	井上	予習：教科書の指定箇所を読んでおく。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	1 時間
8	NICU とハイリスク新生児のケア③ 治療・看護内容の理解と意思決定への支援 早産児・超低出生体重児のケア	講義 演習 <面接>	井上	予習：教科書の指定箇所を読んでおく。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。	1 時間
9	ハイリスク新生児の家族へのケア① 出生直後の家族へのケア	演習 <面接>	井口	テキストや文献や今までの学習を活用し、第8回の講義までに新生児の適応生理や病態生理を復習し理解しておくこと。	1 時間
10	ハイリスク新生児の家族へのケア② 産科入院中の家族へのケア	演習 <面接>	井口	上記の講義を基に、グループワークにて家族へのケアと説明を考え、ロールプレイを実施する。	1 時間
11	新生児医療の歴史 ディベロップメンタルケア、Skin to Skin Contact、タッチケアほか	講義 <面接>	橋本	予習：教科書の指定箇所を読んでおく。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。 配布資料の復習	1 時間
12	乳幼児① 健康診査・発達評価、フィジカルアセスメント	講義 <面接>	堺	予習：教科書の指定箇所を読んでおく。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。 配布資料の復習	1 時間
13	乳幼児② 発育・発達と評価：粗大運動、微細運動	講義 <面接>	堺	予習：教科書の指定箇所を読んでおく。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。 配布資料の復習	1 時間
14	乳幼児③ 発育・発達と評価：精神発達	講義 <面接>	堺	予習：教科書の指定箇所を読んでおく。 復習：授業内容の振り返りと考察をする。 配布資料の復習	1 時間
15	子どもを亡くした親・家族の喪失体験からみた母親と家族への 看護 周産期におけるグリーフケア	講義 <面接>	柳本 (GS)	配布資料の復習 レポートを提出する。	1 時間

成績評価方法・基準	定期試験 80%、レポート 5%、講義への参加度 15% (担当者全員)
課題に対するフィードバック	テキスト予習と配布資料の復習が課題であり、講義をオムニバス形式で担当しますので、講義中、あるいは講義後に質問を受けることで、フィードバックをします。
教科書	①我部山キヨ子 助産学講座 6・8 医学書院 最新版 書籍+電子版 ②田村正徳(最新号)新生児蘇生法テキストメジカルビュー
参考書・参考文献	助産師基礎教育テキスト第4・5・6・7巻 日本看護協会出版会 井上裕美他監修 病気がみえる 10 産科 メディックメディア 仁志田博司 新生児学入門 第4版 医学書院,東京. 白川嘉継 人生の基盤は妊娠中から 3歳までに決まる 東洋経済 動画配信「医学映像セレクト」50巻中の関連内容の映像の事前試聴
カウンター 学習相談 メッセージ その他	柳本 朋子 火曜日 16:30 ~17:30 連絡先: 2号館1階 L218 メールアドレス:yanagimoto@stmaryacjp.onmicrosoft.com 上記時間帯以外でも可能な時間であれば随時対応します。事前にご連絡ください。 メッセージ: 各講義で深めたい事や質問は、各講義の後に、各講義担当教員にお尋ねください。非常勤講師の場合、科目責任者から各講義担当者に連絡を取ります。

開設科目名	Practical English (実践英語)	科目コード	MWSD904	開設期	前期
単位数 (履修区分)	1 単位 (自由)	時間数	15 時間	授業区分	講義
責任者	Eric FORTIN	担当者	Eric FORTIN		
授業の概要 (授業の目的)					
Students will learn basic English communication skills that will prepare them for midwifery activities around the world.					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1) Students will be able to discuss topics related to international midwifery.				11 多様な価値を尊重する姿勢	
2) Students will be able to give presentations in English.				◎6 コミュニケーションスキル(語学)	
3) Students will be able to prepare for midwifery activities in English.				5 問題解決判断力	
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	Course introduction & English review	講義	FORTIN	Bring motivation	1 時間
2	Maternity clinic, vocab; Article discussion	講義	FORTIN	Review & Article selection	2 時間
3	34 weeks later, vocab; Article discussion	講義	FORTIN	Review & Article selection	2 時間
4	In the labor room, vocab; Article discussion	講義	FORTIN	Review & Article selection	2 時間
5	After the delivery, vocab; Article discussion	講義	FORTIN	Review & Article selection	2 時間
6	Day of discharge, vocab; Final discussion	講義	FORTIN	Review & Article selection	2 時間
7	Role play activities, Review, & Presentation practice	講義	FORTIN	Review & Preliminary Presentation Preparation	2 時間
8	Final Presentations	講義	FORTIN	Presentation Preparation	4 時間
成績評価方法・基準	Presentation: 80%; Class participation: 20%				
課題に対するフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表後の批評・アドバイス</li> <li>・ロールプレイ後の批評・アドバイス</li> </ul>				
教科書	Handouts from the instructor				
参考書・参考文献	特になし				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	Eric FORTIN (6号館 2F L621 研究室)、オフィスアワー:水曜日 16:30~17:30				